

PRESS RELEASE

報道関係各位

2021年12月14日

麻布大学、寄附講座：AMR Surveillance Laboratory を開設

Meiji Seika ファルマの協力により、家畜の薬剤耐性（AMR）を調査・研究を強化

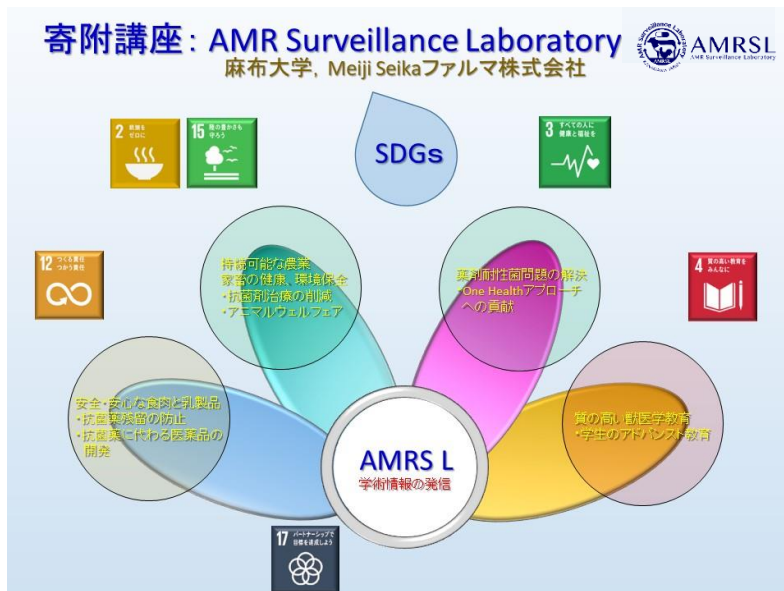
麻布大学

麻布大学（学長：川上泰、本部：神奈川県相模原市、URL: <https://www.azabu-u.ac.jp/>） 獣医学部獣医学科の河合一洋教授は、Meiji Seika ファルマ株式会社（代表取締役社長：小林大吉郎、本社：東京都中央区京橋、URL: <https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>）と寄附講座 AMR Surveillance Laboratory (AMRSL) を開設し、薬剤耐性に関する研究を行うことで成果を社会に還元し、貢献していきます。

近年、世界的に薬剤耐性（AMR）への関心が高まっており、世界保健機関（WHO）の「AMRに関する世界行動計画」でも抗菌薬使用の最適化が目標の一つとされています。また、日本の「薬剤耐性に関する国内行動計画」では、畜産・水産・獣医学分野における抗菌薬の適正使用、責任ある慎重使用を主な目標・戦略としています。特に、畜産農場での抗菌薬の慎重使用は、獣医学やヒトの医療分野における薬剤耐性の世界的な広がりへの対策として強く求められています。ただその現状の把握と対策は道半ばであり、さらに調査を進めていくことにより AMR 対策の一助にしていかなければなりません。

本寄附講座では、全国の家畜疾病または飼養環境由来の検体を収集し、分離菌株の薬剤感受性傾向や薬剤耐性遺伝子の保有状況などを調査して基礎データを蓄積し、アンチバイオグラムを作成することで AMR 抑止の方策を模索することを目的とします。

また Meiji Seika ファルマより、マイコプラズマ培養・薬剤感受性試験技術、および大量検体処理技術の技術提供と、国内遍くアクセスできる顧客とのネットワークの提供などの協力を得て研究を展開します。



具体的には、まず初めに牛の肺炎、乳房炎、豚の腸炎由来の菌株を中心に収集し、収集した菌株に対する抗菌薬の最小発育阻止濃度（MIC）を測定しながら、薬剤感受性ディスクの阻止円との関係を調査します。さらに国の関係機関とも連携し現場で利用できる抗菌薬選択のためのディスク法の判定基準の策定を行っていくことを考えています。

河合教授の研究チームは、これまでも農林水産省の委託事業を受け、牛乳房炎のディスク法の判定基準を策定した実績があり、引き続きこの問題に対し意欲的に取り組んでいく方針です。

また次のように SDGs を意識した活動を続けていきます。

●SDGs への取り組み

- SDGs12:安全・安心な乳製品生産の実現のために、抗菌薬残留防止に繋ぐ抗菌薬に代わる医薬品の開発を模索します。
- SDGs2, 15:持続可能な農業を目指し、家畜の健康・環境保全のために抗菌薬使用の低減や動物福

社について考えていきます。

- ・SDGs3:薬剤耐性問題の解決に向けて、One Health アプローチ実現のために貢献します。
- ・SDGs4:質の高い獣医学教育実現のために、学生のアドバンスト教育を行っていきます。
- ・SDGs17:産官学の取り組みを推進し、学術情報の発信と成果の出口をより実用的なものにしています。

<参考情報>

●麻布大学 獣医学部について

獣医学部には獣医学科と動物応用科学科が設置されています。獣医学科では、全国共通のモデル・コア・カリキュラムと参加型臨床実習に対応した獣医学教育はもちろんのこと、臨床教育に適した施設・設備（麻布大学附属動物病院、麻布大学産業動物臨床教育センター、牛舎、豚実習場など）を整備して充実した教育を実践しています。さらに、多くの研究室において動物に関して多様な研究活動を行っています。また、動物応用科学科では、動物のさまざまな生命現象を、遺伝子などの分子、細胞から個体、群集までの多様なレベルで理解する動物生命科学分野、人と動物のより良い共生を追求する動物人間関係学分野の総合的な教育と質の高い研究を実施しています。

麻布大学獣医学部 https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/veterinary/

●麻布大学について

麻布大学は、獣医系大学として二番目に長い歴史を持つ大学で、2025年に学園創立135周年を迎えます。動物学分野の研究に重点を置く私立大学として、トップクラスの実績を基盤に新たな人材育成に積極的に取り組んでいます。

本学は、獣医学部（獣医学科、動物応用科学科）と生命・環境科学部（臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科）の2学部5学科と大学院（獣医学研究科と環境保健学研究科）の教育体制に、学部生：2,411名、大学院生：88名が学んでいます（2021年5月1日現在）。1つのキャンパス内（神奈川県相模原市）で、人・動物・環境に関する教育・研究を実施している国内唯一の大学です。

麻布大学の概要：<https://www.azabu-u.ac.jp/about/>

●本件のお問い合わせ先 <広報部門の連絡先>

- ・麻布大学 広報課 担当：有嶋・檜垣
- ・住所：〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1丁目17-71
- ・電話：042-769-2032
- ・メール：koho@azabu-u.ac.jp
- ・HP：<https://www.azabu-u.ac.jp/>